

視覚障害者誘導用ブロック・警告ブロック

「リスクアセスメント」

実施者 愛敬 重之

実施期日 2011年3月11日

調査箇所 桑名市民会館

RST	作成

ハザード (危険源)	危険・有害状態の洗い出し	危険の重みづけ(リスクアセスメント)					リスクコントロール					対策後の(リスクアセスメント)			結果検証			
		リスクの見積り			リスクレベル評価		対応策			リスクレベル評価		リスクの見積り	リスクレベル評価		法令に照らして問題	リスクレベル再評価	検証者サイン	
(設備・作業・状態)	(表現例) ○○が△△して□□になる、又は○○が△△なので□□になる等と危険を推測する	ケガの程度 A	発生可能性 B	近づく頻度 C	リスクポイント(合計値)	リスクレベル	改善優先順位	【桑名市担当課記入】何をどのように			ケガの程度 A	発生可能性 B	近づく頻度 C	リスクポイント(合計値)	リスクレベル			
通路(階段)ブロックの設置違い	各公的施設において「視覚障害者誘導用ブロック」の設置方法があいまいで視覚障害者や高齢者が転倒して脚や腕など骨折する	7	4	4	15	III	1	市民会館の方も視覚障害者代表者の意見聞きながら進めます(城田総務部長回答)	総務・教育・保健福祉	エレベーター前市民会館	2	2	1	5	I	ハリアフリー新法より	I	

参考)危険の重みづけの方法

- ①リスクの見積りをします
尚、リスク見積り時に意見が分かれたときは、大きい値を採用します
- ②リスクポイント(合計値)を基に、リスクレベルを評価します

リスクの見積り基準			リスクレベル評価基準		評価及び対策方針			
ケガの程度(A)	発生可能性(B)	危険に近づく頻度(C)	リスクポイント	リスクレベル	評価	対策方針		
死亡、永久労働不能	10点	確実である	6点	頻繁	4点	16~20	IV	許容できない 作業を中止して対策する
重症、障害の残る災害	7点	可能性が高い	4点	時々	2点	11~15	III	重大な問題あり 速やかに対策する
休業災害、不休業災害	5点	可能性がある	2点	少ない	1点	7~10	II	問題が多少ある 優先的に対策いたします
軽度の微少災害	2点	少ない	1点			4~6	I	許容できる 指導教育をする

三重県ユニバーサルデザインの町づくり推進条例施行規則と財団法人国際交通安全学会の両方を網羅されております施設です。

(現場確認写真及び写真など記入しても可)

市民会館階段(担当者との話し合い6月8日)

2012年3月23日達成写真。桑名市民会館エレベーター前



車椅子の方も通行しやすい様に点字ブロックが設置されました。

男女認識用点字は4月~5月

総務部長殿

市民会館のエレベーター前点字ブロック設置完了されてました。
トイレの男女認識用点字については4月~5月と伺いました。